

豊後大野市と大分トリニータとの連携協力協定書

記

ジオパークやエコパークに象徴される豊富な自然・地形資源を有する豊後大野市は、主にスポーツを活用した観光まちづくりを推進している。

また、豊後大野市は、合併前に整備されたスポーツ施設が各町にあり、気候も四季を通じて概ね温暖であることから、スポーツ大会の開催やスポーツ合宿に非常に適した地域であると言える。

今後も、スポーツ振興による地域の魅力向上や、交流人口の拡大等による地域経済の活性化を図るため、スポーツツーリズムのさらなる推進に力を入れているところである。

大分トリニータは、「サッカーを通じ大分の活力に貢献する」ことを理念に、プロスポーツで大分の元気を盛り上げることはもとより、地域貢献や青少年健全育成の取組に力を入れている。

特に、豊後大野市内の「リバーパーク犬飼」サッカー場は、チーム設立以来の練習場として、チームのJリーグでの活躍を支えてきた。

豊後大野市と大分トリニータは、相互の理念と取組を尊重しあい、その発展と実現に向け協働することを約するため、ここに連携協力協定を締結する。

- 1 豊後大野市は、市民みなんで大分トリニータを応援していく機運醸成に努めるなど、大分トリニータの活動を長期継続的に支援していく。
- 2 大分トリニータは、子どもの健全育成やスポーツツーリズム推進を中心に豊後大野市の進める地方創生の実現に向けた取組に積極的に協力する。
- 3 本協定は署名の日から2年間効力を有するものとし、双方が更新に異議がない場合は、本協定は従前と同一の条件で、さらに2年間更新されるものとする。

この協定が成立したことを証するため、本協定書2通を作成し、各自1通を保持する。

令和 6年10月25日

協定者

豊後大野市長



株式会社大分フットボールクラブ

(大分トリニータ)

代表取締役



立会人

豊後大野市議会議長



